

対象年度		平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名		結核健康診断事業						予算事業名		結核健康診断事業費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
			04	01	02	2001	経常経費				
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分	主要事業			
	1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）										
	②保健予防活動の充実						担当課係等	健康増進センター 予防係			
2感染症等の予防の推進											
事業期間	継続（昭和60年度～ 年度）										
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
結核を早期に発見し治療に結びつけることで，個人や社会への結核の蔓延を防止するとともに，結核に関する正しい知識の普及，健康障害の回避，症状の軽減及び進行の遅延を図る。							感染症である結核が個人及び社会に対して多大な害を及ぼすことから，その発生及び蔓延を防止するため開始となった。				
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】				
・結核健康診断の実施 検診内容：①問診②胸部間接レントゲン撮影 事後指導：健診結果で「結核の疑い」となった方には医療機関での精密検査受診を勧める。							30歳以上の市民				
							【事業をとりまく環境の変化】 近年，国内では1日におよそ50人の新規結核患者が発生し，5人が命を落としている状況であり，世界の中では結核中蔓延国となっている。国内の結核患者の傾向としては，70歳以上の高齢者が6割を占めており，加齢に伴う免疫力の低下が発症の要因となっている。また，働き盛り世代の発見の遅れなどから周囲を感染させ，さらに感染を広める恐れがあることから，結核健康診断を実施していくことにより，早期発見及び早期治療に繋げていく必要がある。				
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を実施。			総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を実施。				総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を実施。				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	3,835	4,071			
歳入計（千円）		3,835	4,071			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	11 需用費	10	10			
	13 委託料	3,808	4,042			
	14 使用料及び賃借料	17	19			
歳出計（千円）（A）		3,835	4,071			
伸び率（％）			6.15			
備考	総合計画 50ページ 予算書 97ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	結核健康診断実施日数	日	目標	31.00	33.00	33.00
	市の総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を実施する。		実績	33.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	結核健康診断受診者数	人	目標	5,000.00	5,000.00	5,000.00
	市の総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を受診した人数。		実績	4,523.00	0.00	0.00
	結核健康診断受診率	%	目標	29.00	37.40	37.40
	市の総合健診及び一般・早朝健診において結核健康診断を受診した人数の割合。		実績	25.80	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結核を予防し感染の拡大を防止するため健診を実施し、結核の早期発見及び早期治療を推進することにより、市民の健康増進に寄与する重要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	重大な感染症である結核の蔓延を防止するための重要な事業であり、行政が行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	市民を対象とした総合健診及び一般・早朝健診において実施しており、現在の方法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	特定健診及び各種がん検診と共に受診できることから効率性は良いと考えられるが、健診開催時期や会場によっては受診者が少ない場合もある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	30歳以上の市民を対象として実施しており、受診券の個別発送や市の広報紙等において受診の案内・勧奨を行っている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	28年度と比較して受診率は0.9%減少しているが、過去の受診率推移としては全体的に増加傾向にあると判断できる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	健診内容及び日程の案内を広報誌等で周知しており、結核健康診断を総合健診及び一般・早朝健診の日程で受診できることが市民に広く認知されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市が実施する集団健診（総合健診及び一般・早朝健診）において、特定健診及び各種がん検診と一緒に受診できることから市民にとって利便性は高く、当事業の目的である結核の早期発見・早期治療及び蔓延防止に向けて適切に実施されていると判断できる。しかしながら、健康意識が低いなどの理由により受診しない者も依然として多いことから、未受診者への受診勧奨等により受診者数増加に向けた取組みが大きな課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
個別の受診券及び勧奨通知の発送や広報内容を工夫するなどして市民の健康への関心を高め、結核健康診断の未受診者への受診勧奨をすることにより、受診率向上に努めていくこととする。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 結核の減少は鈍化し「中まん延国」とされており、早期発見、早期治療に向けた健診受診率の向上を目指し、広報や個人通知による周知を継続する。また、未受診者への受診勧奨を強化していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。